

## ○事故危険箇所を選定

○幹線道路において事故の危険性が高く、道路整備や交通安全施設設備により対策効果が見込まれ、第4次社会資本整備重点計画期間中に重点的に交通事故対策を実施すべき箇所を「事故危険箇所」として選定する。

＜新たな選定候補箇所＞ 直轄国道:40箇所 県道:95箇所

### 【事故危険箇所選定の基準(案)】

抽出基準	指標の内容	直轄国道	県道
抽出基準A	事故率が一定の基準を満たす箇所	17箇所	36箇所
抽出基準B (顕在的)	抽出基準Aに該当しない箇所のうち、地域の課題や特徴を踏まえ、特に緊急的、集中的な対策が必要な箇所等	18箇所	55箇所
抽出基準B (潜在的)	ETC2.0のビッグデータを活用して判明した潜在的な危険箇所等	5箇所	4箇所

### 【位置図】



## ○生活道路の対策検討

### 【検討内容】

「市町村道の交通事故メッシュデータベース(H26)」において死傷事故件数が多いメッシュ(500m×500m)を基本とした上で、生活道路対策の観点から、総合的に判断し緊急性の高いエリアを選定する。(候補エリア6メッシュ)

## ○幹線道路の事故対策検討

○事故危険箇所を中心に事故要因分析・対策検討を行う。

### 【対策検討箇所】

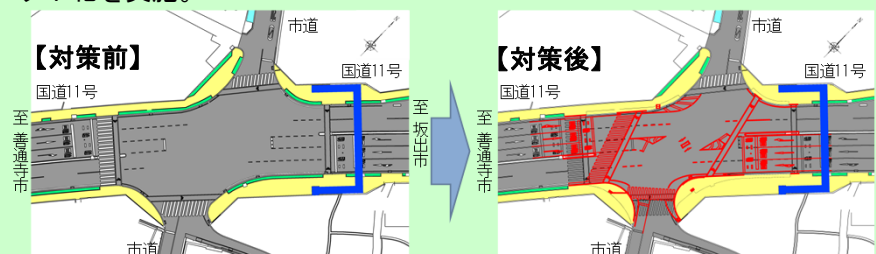
- ・国道11号 伏石町交差点
- ・国道11号 中央公園南交差点
- ・その他 幹線道路で発生する重大事故に着目した対策検討 等

## ○対策効果検証

○国道11号川古交差点において事故対策を実施し、対策の効果検証を行う。

### 【対策内容】

自転車の乱横断による事故等の対策として、平成27年2月に交差点のコンパクト化を実施。



### 【効果検証】

期待される効果	交通挙動調査	住民意識調査	
		対策による変化	整備後も危険を感じる状況
自転車の乱横断の抑制	乱横断件数 4件→3件	対策前より安全になったとの回答約6~7割	自転車のショートカット 52.6%
交錯機会の減少	ヒヤリハット事象の件数 4件→3件		—
右左折車両の速度低下	右折車 32.2→24.7km/h 左折車 19.8→15.4km/h		車の速度が速い 52.5%
黄色・赤色時の交差点進入の抑制	黄色・赤色時の交差点進入率5.3%→3.7%		横断している途中で信号が変わり自動車が進入してくる 52.5%

**事故対策会議**は、香川県における交通事故抑止対策をより効果的・効率的に実施するため、主として直轄国道を対象とする対策箇所について選択と集中の観点で厳格に選定し、その選定箇所の事故発生要因を調査・分析、対策の立案・実施および対策の検証・評価等を行うとともに、必要に応じ他の道路へ拡大することを目的として設置しております。